



土砂崩れにより寸断された旧国道17号(長岡市妙見町)

中越地震から15年

防災・減災シンポジウム

～その教訓に学び、巨大災害に備える～

令和元年 10.30(水) Open 13:00 Start 13:30 ~ 16:00

| 会場 | 新潟日報メディアシップ 2F 日報ホール (新潟市中央区万代3-1-1)

| 同時開催 | 中越地震パネル展示 1階みなと広場

参加者募集
入場無料
200名

お申し込み方法は裏面をご覧ください



上越新幹線脱線



旧川口町和南津(わなづ)地区



旧山古志村木籠(こごも)集落



長岡市濁沢町

2004年10月23日(土)午後5時56分に、新潟県中越地方を震源とする震度7の直下型地震が発生しました。

これにより、死者68名、重軽傷者4,795名、全壊3,175棟など、甚大な被害をもたらしました。

本シンポジウムは、中越地震の被害や教訓を風化させず後世に伝承するとともに、近年頻発する大規模災害の経験や首都直下地震等への備えに学び、防災意識の向上と災害に強い地域をつくるため、地域防災について考えます。

主催/国土交通省 北陸地方整備局、新潟県、新潟日报社

後援/長岡市、小千谷市、十日町市、(一社)北陸地域づくり協会



※施設駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



中越地震から15年

防災・減災シンポジウム

～その教訓に学び、巨大災害に備える～

プログラム

13:30 ▶ 開 会 主催者挨拶

13:35 ▶ 基調講演 「来るべき国難災害をどうのり切るか」



講師 林 春男氏 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長

● 林 春男 (はやし・はるお)

国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長。1951年東京都生まれ。1983年カリフォルニア大学ロサンゼルス校Ph.D.。専門は社会心理学、危機管理。京都大学防災研究所教授を経て、2015年10月1日より現職。2013年9月防災功労者内閣総理大臣表彰受賞。文部科学省科学技術・学術審議会 専門委員、日本学術会議 特任連携会員、内閣府・防災教育チャレンジプラン実行委員長等。市町村議会議員特別セミナー、震災対策技術展、防災産業展等での講演実績。「いのちを守る地震防災学」「しなやかな社会の挑戦」など著書多数。

14:50 ▶ パネルディスカッション

テーマ 「防災意識の向上と災害に強い地域をつくるために」

パネリスト



磯田 達伸氏
長岡市長



田村 圭子氏
新潟大学
危機管理本部
危機管理室教授



李 仁鉄氏
いがた災害
ボランティアネットワーク
理事長



石黒 みち子氏
中越地震被災者／
中越市民防災安全士会
副会長



内藤 正彦氏
北陸地方整備局
企画部長

コーディネーター

小林 正史
新潟日报社
長岡支社 報道部長

16:00 ▶ 閉 会

【お申し込み方法】 どなたでもお申し込みいただけます。

はがき、FAXまたはメールにてお申し込みください。応募多数の場合は抽選し、当選者のみ参加証を発送します。(参加証は当日ご持参ください)



■ はがきの場合

右記に記入の上、はがきに貼り付けて下記お申込み先までお送りください。



■ ファックスの場合

右記に記入の上、下記お申込み先までそのまま送信ください。



■ メールの場合

①郵便番号・住所②機関・団体名③氏名④参加希望人数⑤電話番号をお知らせください。複数でお申し込みの方は、代表者の連絡先をお知らせください。

① 郵便番号・〒 -

住所

② 機関・団体名

③ 氏名

④ 参加希望人数

⑤ 電話番号

⑥ CPD

⑦ CPDS

【建設業関係の方々へのご案内】

本シンポジウムはCPD・CPDS認定プログラムに申請予定です。

CPD・CPDS受講証明書の要否について、「⑥CPD⑦CPDS」の欄に○×をご記入ください。なお、当日はCPD登録証・CPDS技術者証をご持参ください。

申込み締め切り | 10月23日(水) 必着

*申し込みにより知り得た個人情報、本シンポジウム開催に関わる必要な範囲でのみ利用させていただきます。

お申し込み先 | はがき 〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1「防災・減災シンポジウム」係

ファクス 025-385-7476 メール bousai2019@niigata-nippo.co.jp

こちらのQRコードからもお申し込みいただけます▶



問い合わせ

防災・減災シンポジウム運営事務局(新潟日报社内) TEL 025-385-7474 受付時間 10:00~17:00(土・日・祝除く)
北陸地方整備局防災室 TEL 025-280-8836